

各位

会 社 名 アクモス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 飯島秀幸
(JASDAQ コード 6888)
問 合 せ 先 執行役員 経営情報管理部長 中川智章
(TEL. 03-3239-2377)

親会社等に係る決算に関するお知らせ

このたび、当社のその他の関係会社 コンセーユ・ティ・アイ株式会社(以下、「親会社等」という。)の決算内容等が確定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 親会社等の概要

- (1) 名 称 コンセーユ・ティ・アイ株式会社
(2) 事 業 の 内 容 ベンチャーキャピタル事業等
(3) 当 社 と の 関 係
① 資 本 関 係 議決権被所有割合:19.6%(平成 21 年3月31日現在) (注)
② 人 的 関 係 当社の代表取締役飯島秀幸がコンセーユ・ティ・アイの発行済み株式 100%を所有
③ 取 引 関 係 本社事務所は当社が転貸
(注) 議決権被所有割合は、平成 21 年3月 31 日現在の発行済み株式総数 102,154 株から、自己株式数 5,159 株を控除した 96,995 株を基礎として計算しております。

2. 株式の所有者別状況、大株主の状況、役員の状況(平成 21 年 3 月 31 日現在)

(1) 株式の所有者別の状況

区分	政府及び 地方公共 団体	金融機関	金融商品 取引業者	その他の 法人	外国法人等		個人 その他	計	単元未満 株式の状況 (株)
					個人以外	個人			
株主数(人)	—	—	—	—	—	—	1	1	—
所有株式数 (株)	—	—	—	—	—	—	3,000	3,000	—
所有株式数 の割合(%)	—	—	—	—	—	—	100.0	100.0	—

(2) 大株主の状況

氏 名	住 所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
飯島秀幸	東京都中央区	3,000	100.0

(3) 役員の状況

役 名	氏 名	所有株式数 (株)
代表取締役	小貫 善道	0
取締役	赤塚 剛文	0
取締役	志賀 道夫	0
監査役	斎藤 知之	0

3. 財務諸表

(1) 貸借対照表(平成21年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	16, 280	流 動 負 債	300
現金及び預金	8, 780	預り金	10
短期貸付金	7, 500	未払法人税等	290
固 定 資 産	278, 684	負 債 合 計	300
(無形固定資産)	(313)	純資産の部	
電話加入権	313	株 主 資 本	294, 664
(投資その他の資産)	(278, 370)	資本金	50, 000
投資有価証券	278, 370	資本剰余金	58, 063
		資本準備金	8, 259
		その他の資本剰余金	49, 803
		利益剰余金	186, 601
		利益準備金	38
		その他の利益剰余金	186, 562
		純 資 産 合 計	294, 664
資 産 合 計	294, 964	負 債 純 資 産 合 計	294, 964

(2) 損益計算書(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(単位:千円)

科 目	金 額	
【売上高】	740	740
売上総利益		740
【販売費及び一般管理費】		8, 378
営業損失		7, 637
【営業外収益】		
受取利息	16	
投資有価証券売却益	5, 715	
雑収入	16	5, 747
経常損失		1, 890
【特別損失】		
投資有価証券評価損	9, 999	
その他特別損失	136	10, 136
税引前当期純損失		12, 026
法人税、住民税及び事業税		290
当期純損失		12, 316

(3) 株主資本等変動計算書(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			株主資本合計	
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他 利益 剰余金	利益 剰余金 合計		
平成20年3月31日 残高	50,000	8,259	49,803	58,063	38	198,879	198,918	306,981	306,981
当期変動額									
当期純利益						△12,316	△12,316	△12,316	△12,316
事業年度中の 変動額合計	—	—	—	—	—	△12,316	△12,316	△12,316	△12,316
平成21年3月31日 残高	50,000	8,259	49,803	58,063	38	186,562	186,601	294,664	294,664

4.特別損失の発生について

当期末の決算処理において、特別損失として 9,999 千円の投資有価証券評価損を計上しております。これは所有している投資有価証券のうち、その実質価格が著しく下落しているものについて、計上したものであります。

なお、親会社等は当社の連結範囲に含まれていないため、当社の業績に与える影響はありません。

以 上